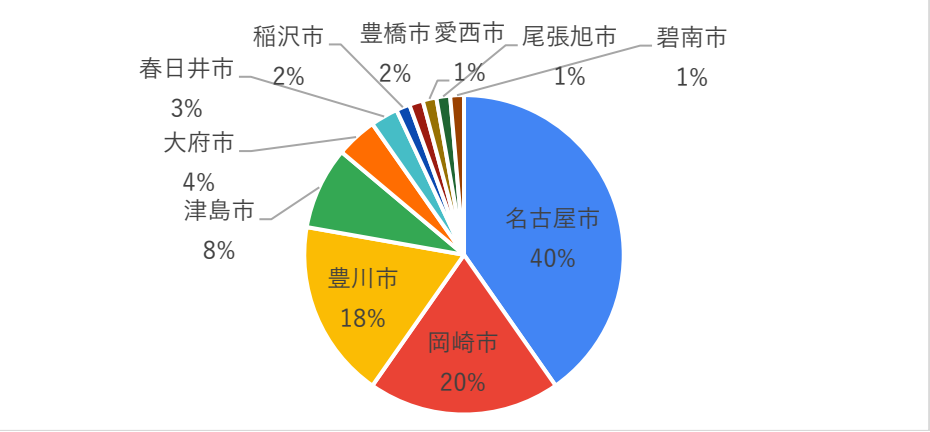
アンケート指導員向け結果まとめ

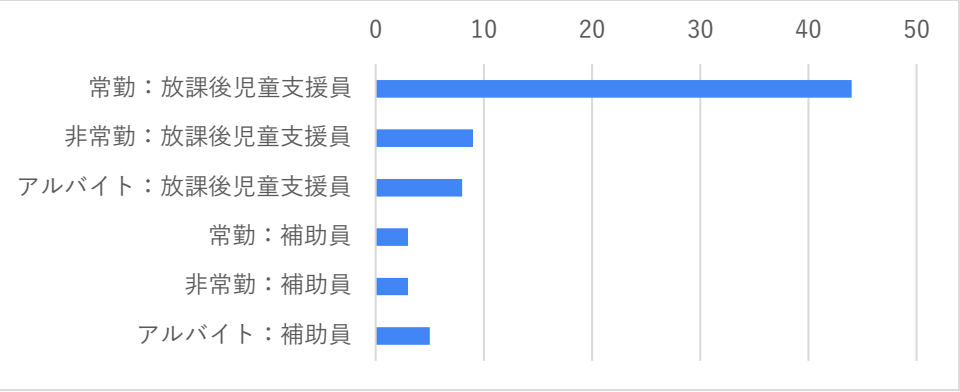
お住まいの地域を教えて下さい。

計７２名から回答があり、名古屋市、岡崎市、豊川市で約８０％近くを占めました。



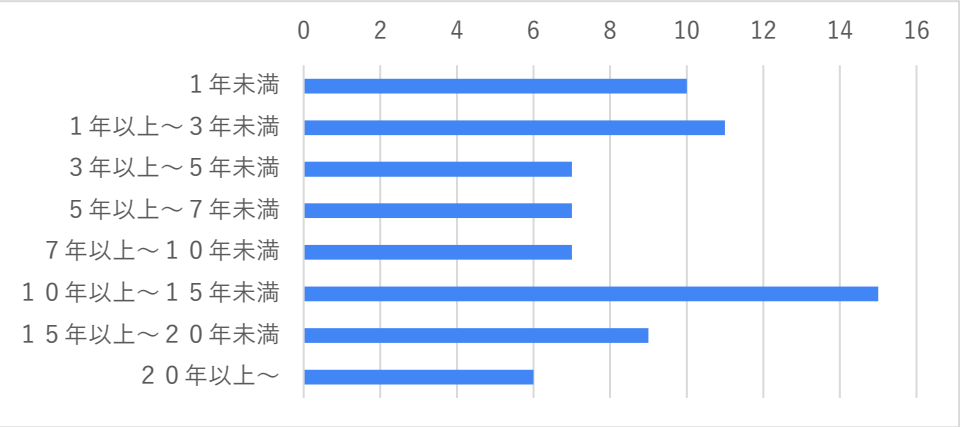
1.指導員の種類は何になりますか

計７２名からの回答で、４０人以上が常勤の回答となりました。



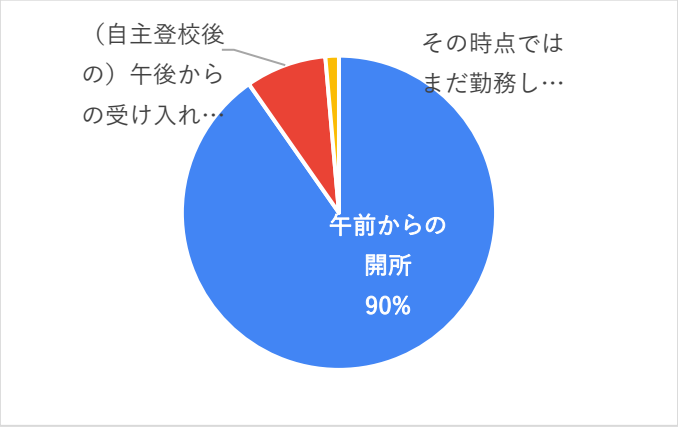
2.指導員歴何年目ですか？

１年未満から２０年以上まで幅広く、ほぼ均等となりました。



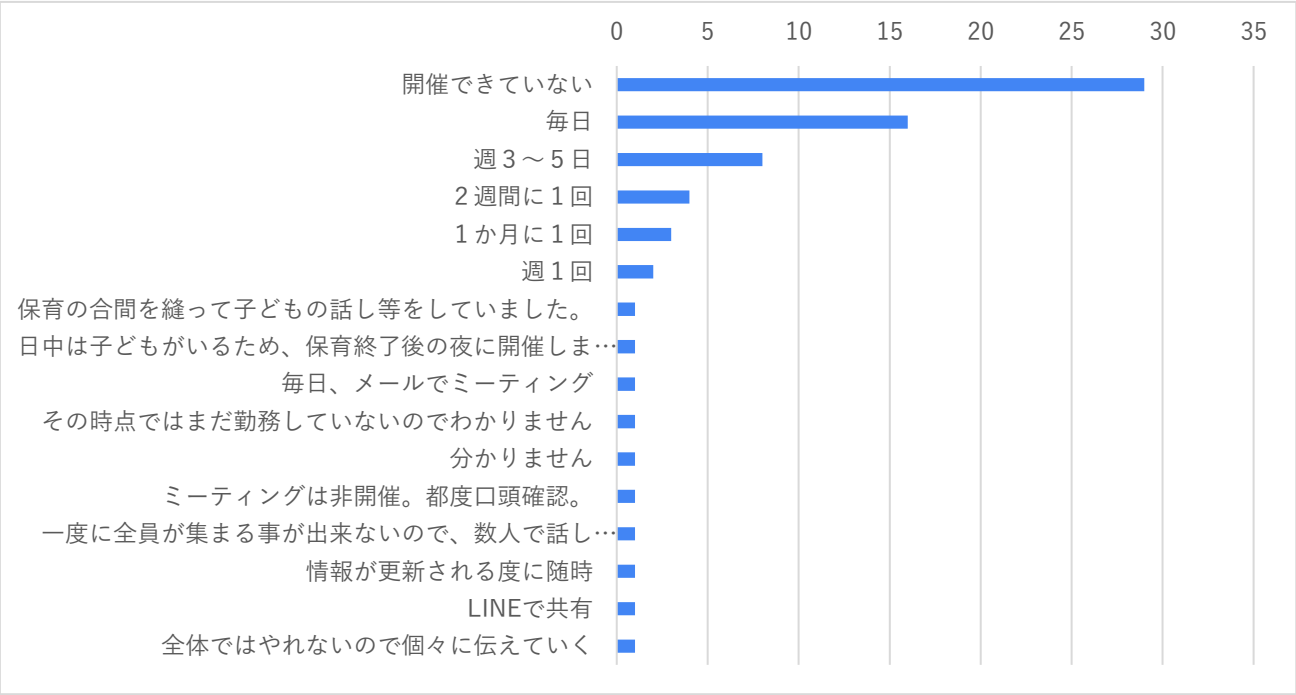
3.臨時休校中（利用自粛中）のクラブの開所状況を教えてください。

午前中からの開所が圧倒的でした。



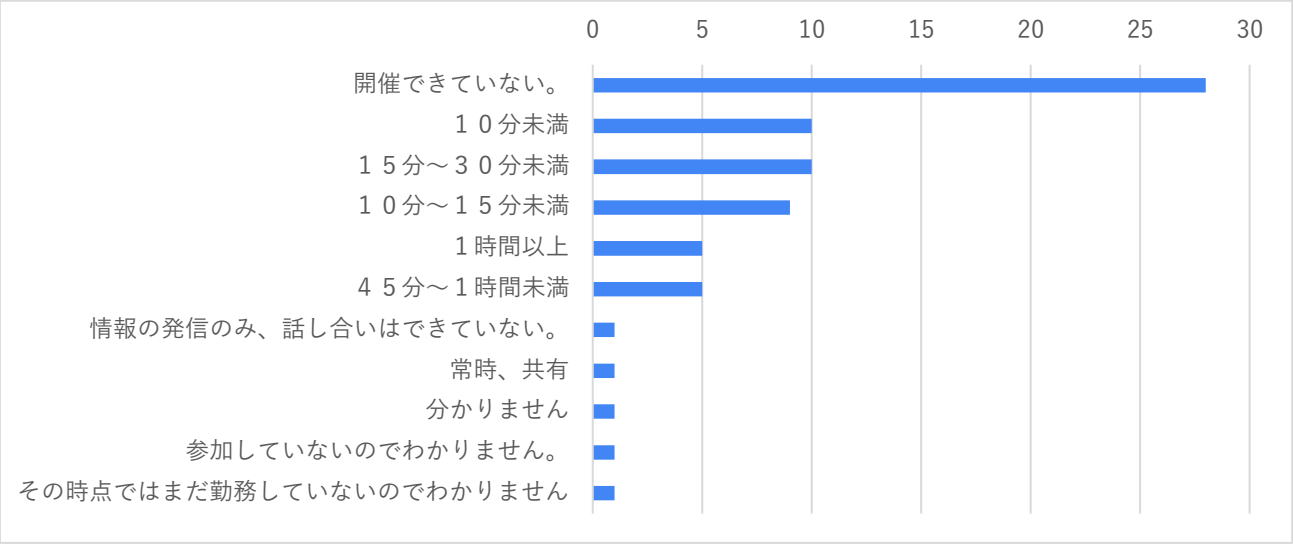
4.利用自粛期間中の指導員間のミーティングの頻度を教えてください。

計７２名からの回答で、開催できていないが約半数を占めました。



5.利用自粛期間中の指導員間のミーティングに要したの時間を教えてください。

開催できても短時間で済ましている結果となりました。



6.臨時休校中にお子さんの様子で困った事・気になったことなどはありましたか 。ある場合はどのような様子でしたか？

・複数回答があったものについて

低学年の子から、コロナ死ね！や暴言も出ていて、普段優しい子からの言葉からも、様々な想いをしながらいたと思う。

初めは良かったが、長期にわたってくると　何かと不安な様子が出ていた。

指導員が落ち着いて会話をする様にしたら、いつもと違い、ずっと話し続けることが多く、話すと安心した表情になった。

子供達の中に亀裂が入った。

・それ以外の回答について

態度、口調が乱暴でちょっとした事でケンカがはじまる。

密になること。

コロナがコロナがと気にしすぎて、神経質になっている子がいた

コロナへの不安はもちろん、いつもと違う人数・過ごし方、環境の変化に敏感な子たちもいましたが、比較的落ち着いて過ごせたと思う

新一年生の生活リズムを作るのに大変でした。宿題を集中して座ってやることができませんでした。

スキンシップをしながら遊ぶことが困難だったためストレスがたまっていた。

その時点ではまだ勤務していないのでわかりません

分離不安の様子を呈する子がいた。

ただでさえバタバタする年度末・年度初めにこのような事態となり、長期的に計画してきたことが行えなくなるなどただただ不憫で申し訳ない状況となりました。

その中でも子どもたちは比較的落ち着いて生活が出来ていたので、逆に大丈夫？我慢してるのかな？などと思うこともありました。

コロナで感染対策が必要な事は、子どもなりに理解はしていると思われたが、マスクをはずしておしゃべり、食事中に騒ぐ、手洗いや消毒が雑になってしまう、鼻をさわって、鼻水がついた手であちこ

ち触る等、指導員が注意して見守っていても、感染対策を完璧に講じるのは難しいと感じた。
感染が起きなかった事が幸い。
たぶん熱中症、赤い顔をしてぐったりしてた
親は在宅なのに来たいから来る子がいた
・コロナに対する不安を感じているように見えた
・学校に行けないことにより学習が不足しているように感じた
・学童に登所しない子どもの様子・状況を把握できなかった
仲の良い友達が学童の利用を自粛でお休みしていて遊ぶ友達がいない為に指導員にべったりだった。
イライラしているのか些細なことで揉めたり泣いたりする様子が見られた
マスクの定着。遊びの限定（動きが限定されるが、判断できない）。
漠然とした不安感からからイラつき、疲れ、ダルさ
膀胱炎になった子がいた。病院では、すとれすによるものの言われたとのこと。
密になってしまう。
自粛していたこどものメンタル
登所再開した子もいた。
来ていた子の様子は見れていたが、休校明けの子どもたちの中には、ずっと家にいてストレスを感じていた子もいた。
手洗い等の徹底を行いたいが、この状況下においても洗ったと嘘つき意識が低い子がいた。
３月もであるが、４・５月学校休校の為、新１年生の生活・言動・学習などすべての出だしに遅れがみられた。
マスクや手洗い消毒等は実施していたが、完全に全員を見届けることは困難。
学童内で蜜を避けることは無理だと思った。
自粛する子どもたちが増え、残された子どもたちが自粛しなくてよいのか不安になっていた。また自粛していた子どもたちが学童に出席すると、自宅でしたいことができず学童に来ると騒がしくなることから、子どもの中で温度差が生まれていた。
マスクをすぐ外す
宿題が終わってしまって宿題の時間にやる事がなかった。
マスクをなかなかつけていられない
情緒不安定になった子がいた
わたしが学童の規則を言っているのですが、子どもたちがなかなか従ってくれないことがある
新学年への準備期間が無いこと
一年生が集団になかなか慣れなかった。また、勉強の時間を充分に過ごす事が出来ない。
体温の確認で、日頃から高い子どももいるので判断に困った。
一人鬱っぽくなった子どもがいた。
受診をすすめ、
暇～とぼやくことが多い
大声、奇声など、明らかにイライラしていた
学校に行けないため、自分で勉強しないといけないので、大変そうであること。
長時間の保育で単調になり、また学校再開も目処がたたず、イライラしていると感じた。
学童に来ていない子たちの毎日の生活が気になりました。

登園自粛によって、長期休みの子ども達が家庭でどの様に過ごしているか？全く分からず、再登園後の関係づくりに不安があった。

コロナに対して、過剰に不安がっている子どももいたので、集団で過ごすリスクに不安はあった。→食事やおやつ時間は特に。
学童を休める子、休めない子と別れる状況の中で、学童での生活を充実させることが困難だったこと。また、子どもたちも様々な制限がされていく中で息苦しく、ストレスを抱えていたこと。
学童を控えてくれていた子達が登所して来た時ストレスがたまっていてケンカが多かった。
夕方から登所してくる児童で朝から何も食べていない児童がいた。
突然の学校休業に伴う、全日保育となり、普段と比べ落ち着きのない様子がみられた。
休校解除後、(家にいる時間が増えたためか)ゲーム依存的になっていると
見受けられる子がいる
普段、指導員にくっついてこない子がくっついてきた。
喧嘩が増えた
勉強時間に子どもたちが家から持ってきた勉強や学校から配られた宿題をやっていましたが、基礎をやれていないので、子どもによって理解度がかなり差がある。
見えない恐怖に、敏感になりすぎてしまった。
密にならないように指導してもすぐに集まってしまう。

雨天時等に室内でおとなしくできないので安全管理に神経をつかう。
三密が保たない
妙にお利口さんでした。
三密は狭い空間内ではなかなか守れない。やってはいけない事が多くそれでも努力はしていた。
利用自粛している家庭が多くあり、クラブ利用している子どもたちが友達が少ない、クラブ生活でもストレスがあった
子どもが不安定
『コロナ』というフレーズに敏感でイライラ情緒不安定な子も
子どもたちもストレスからか大人に強く当たる子が多く、指導員も苦労した

7.臨時休校中の保護者の様子や言動で気になったことはありましたか ？ある場合はどのような様子でしたか？

これについても、それぞれ違う回答が多数を占めました。

・複数回答があったものについて

特になし
不安な様子だった。
いつ閉所するのか、学校の対応など
いつも不安そうだった。
仕事がどうしても休めない…と、気まずそうに預けられる親御さん。児童クラブが休みになれば、会社へ申請だして仕事も休めるのにという声。急遽、在宅ワークになり、親御さん自身も仕事が減っていったり様々な変化の不安の中、だんだん笑顔がなくなっていっていた。

・それ以外の回答について

特に気になったことはありませんでした。

神経質過ぎる？ピリピリしてる？人もいた。
保護者の方も仕事があるとはいえ、学童は開所して当たり前という考えをお持ちの方がおり、感染リスクのある環境で働く指導員として受け止めがたい言葉でした。（もちろん、開所に感謝される方が大多数でした。）
その他：自粛登所にご協力下さり、保護者の皆様に感謝
とくにない。皆さん色々と不安を抱えていらっしゃる。
父母方はそれぞれの立場で良くやっていたと思う
両親が働いているが学童を、自粛しないといけないかと悩んでいる方に、どう伝えればいいか悩んだ
ありがとうの言葉をたくさんいただきました
※中々学校が始まらない事で子どもの勉強面で遅れが生じてしまう不安や焦り苛立ちが言葉の端々に出ていた。
※世間では３密を避ける様に言われているのに仕事が休めず、学童へ子どもを預けなければならない事で三密が守られず子どもに対して後ろめたさを感じているようだった。
コロナに過剰に反応する人もいれば、全く気にしてない人もいて、その狭間に立たされた
なんで学童に行っちゃダメなの？
シフトの関係で保護者と会う機会がありませんでした
在宅勤務や休みの日にも登所させている保護者がいた。
保護者が申し訳なさそうに子供送ってくる姿が気になりました。
仕事が休みになったり、辞めることになってしまった人たちがいた。
密になってしまう、状況もあるので、心配される親御さんもいらっしゃること。
子供とずっといると、怒ってばかりでイライラしてしまう。と自粛中のお母さんから相談をうけました。
その時点ではまだ勤務していないのでわかりません
自粛要請を受けて長期に休んでいる世帯からの保育料免除の要請が困った。
行政からはそのあたりについての援助方針が未だに不明確なので。

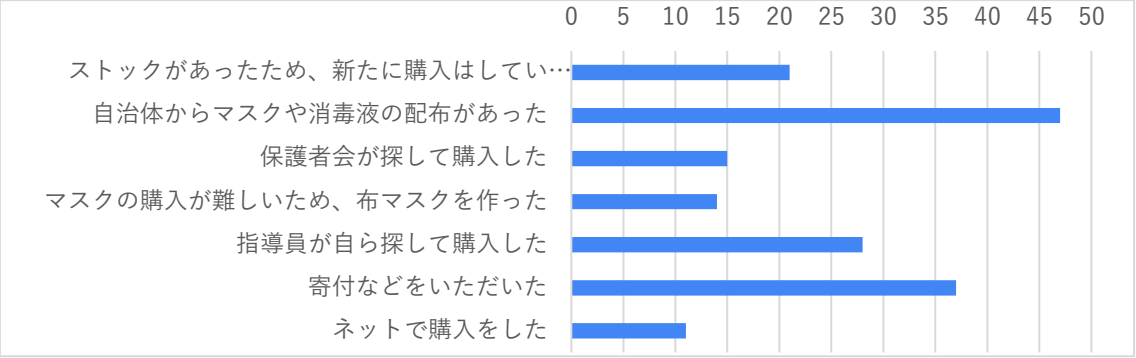
出欠連絡がおろそかな世帯も多かった。

例年、新入所世帯と上級生世帯との交流会等を行うのだが父母会すら開けず、中途半端な状態が続いている。
マスクをなかなかつけていられない
子ども同士で接触することに対して気にされていました。
みなさん協力的で、指導員の体調等も気にかけてくださいました。
支援員に危険があり得ると、考える人が少なかった
医療従事者の方が居たので感染しないかの不安。
職員が長期休業対応となり、疲労から体調を崩さないか心配をしてくれていた方が多かった。
加湿器に次亜塩素酸水を入れたいと、反対意見があるのに強引だった。
人によっては、かなり感染不安に対してナイーブになっているのを感じた
家でゲームばかりしている
特にありません。学童方針に非常に理解が得れていました。
家にいると親子喧嘩や兄弟喧嘩、更には暇してしまうので預けたいとの声を聞いた時は気になりました。

過度に忙しくなった方、仕事が激減した方の両極端。どちらも生活に深刻に影響している感じだった。
特にはなかったが、内心仕事や今後のことなど、色々心配なことはあったと思う。
学校に行きたくないと、嘆いている子どもが多い様子（実際に行けていない人もいる）
学童から登所自粛を促す時、保護者の捉え方に余裕がなく、数々の誤解・嫉みがあった。
父母間でコロナに対する見方や感じ方、考え方の相違があり、完全に分裂してしまった。
協力的な方がほとんどだった
保育の利用を控えていただいた。その影響もあり学校再開後学童に来れない子も増え 4 名の退所児童も出てしまった。
迎えに来た親御さんが、「外遊びの際マスクをしていなかった子どもがいた。信じられない」とピリピリしていた。
保護者の感染予防対策の判断の違い
在宅ワークで利用していいのか迷っていた。
保護者の方々は、自粛に協力的だったので特にありません。
在宅ワークなどの保護者が多く、時差勤務でお迎えの早い子どもいて親子の関わりは増えているようだったので安心しました。学校が始まってからのほうが心配なことが増えました。
在宅勤務でもお家では子どもを見れずでも自粛しろとも言われ対応に困る。強制力がどこまであるのか分からない
・コロナに対する不安を感じているように見えた
・先行きの不透明感を抱いているようだった
在宅勤務の家庭には、できる限り登所を自粛してもらったが、家にいるからといって子どもをずっと見てられる訳ではない。(基本仕事をしないといけないので)

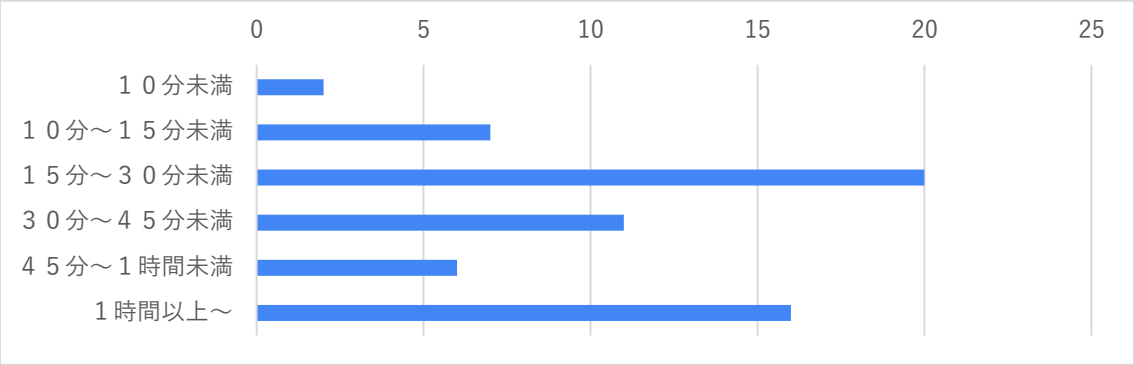
8.アルコールやマスクなどはもともとストックはありましたか？ストックがなかった学童保育所では、臨時休校スタート後にどのように集めましたか？

対応はバラバラですが、色々な手段で集めていることが分かりました。



9.　１日のうち、どれくらいの感染予防対策に時間を費やしましたか？

１時間以上費やしている指導員もいるのが分かりました。



その他の回答

その時点ではまだ勤務していないのでわかりません

一日中ずっと感染予防に気を張っていた

換気は、1 時間ごとに 5 分。おやつなどは、いままでよりも広く場所を取るようになったので、そこに時間がかかったりしています。検温。手洗いうがいなどです。時間にすると、とれくらいでしょうか？

指導員の意識によって、マチマチだと思う。いつもの掃除に加えて気がついたとき。

時間的には分からないが、様々な場面でワンクッション分増えている

他の指導員が集中してやってたので不明

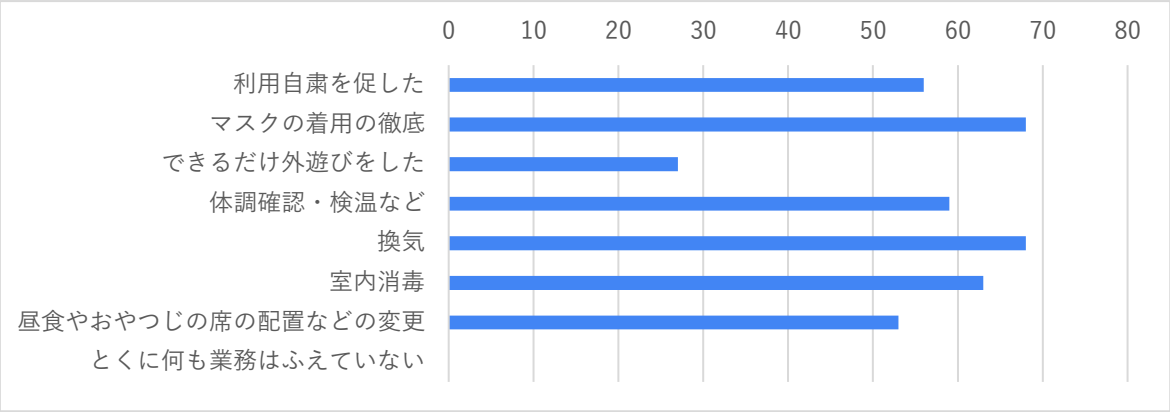
対策を消毒に限って言うなら 10 分程度。ただ、換気やマスク着用等も含めるなら、子どもを保育している間中となります。

普段の掃除に、テーブル等の消毒

分からない。

10.感染を防ぐために気を付けたことは何ですか?

外遊びに関しては、他の手段と比較すると少ない結果となりました。



11.３密を考慮し、工夫した遊びなどがあれば教えてください。

それぞれ工夫していることが分かりました。

・複数回答があったものについて

スペースを少しでも広げて保育室に充てた。
アイロンビーズ、プラバン、ぬり絵、読書等、１人でできる遊びを促した。
特にありません。

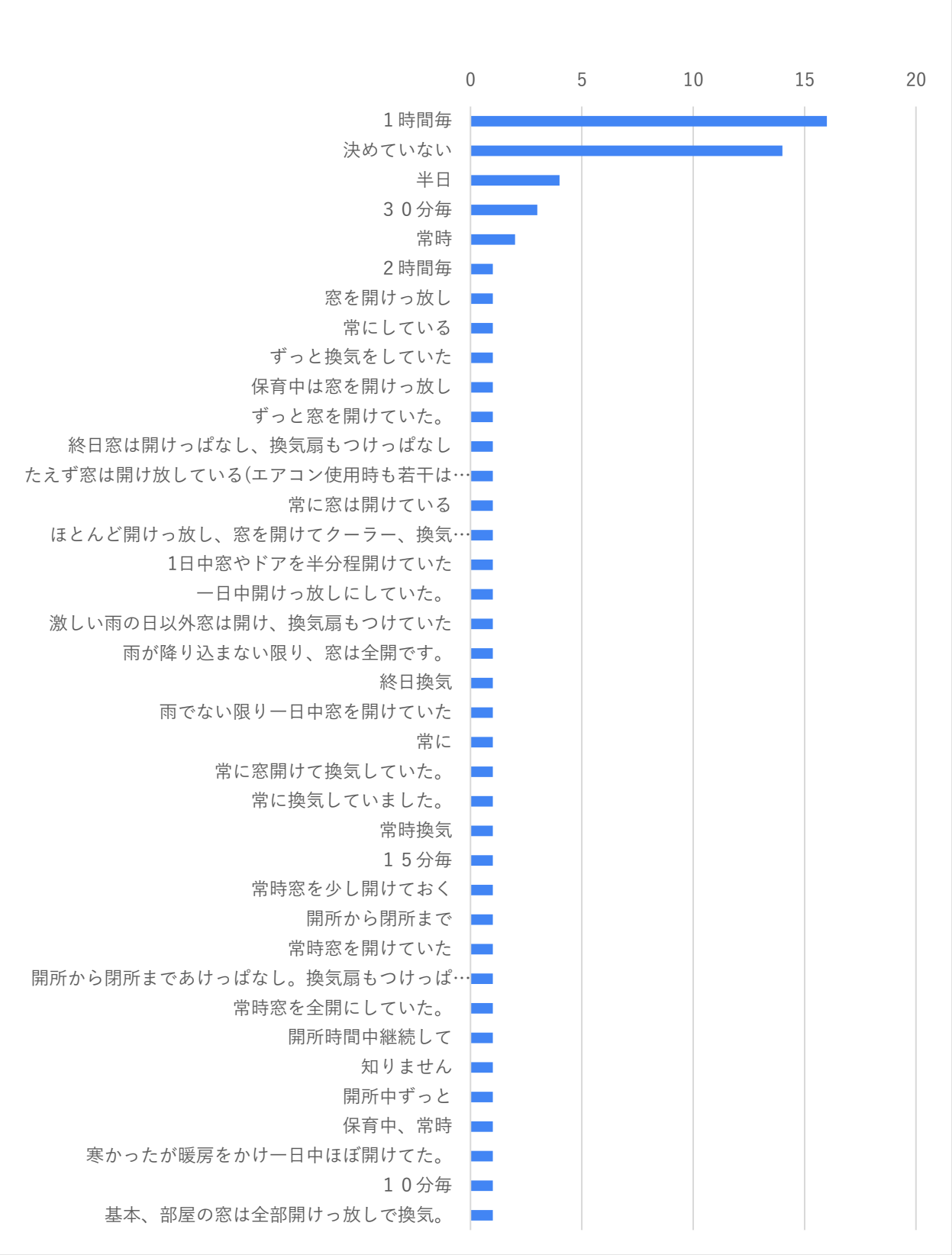
・それ以外の回答について

公園などの公共の場への外出を控えていました。

遊び自体の制限等は設けていないが、向かい合う遊びは机を一つ多く使うなど極力間を空けて過ごすようにしている。
助成金をもとに一人遊びや外で遊ぶ遊具を購入
タッチの必要ないポコペンやドッジボールなどを行った
個人遊びを増やそうとしたがムリ。子どもによるがすぐ飽きる。
室内、外、分割した
なるべく外へ出たり、体育館を借りたりして広い場所で遊んだ。
多少の雨なら外遊びです。
プラレールやラ Q、モノポリー、パズルなどの購入や、工作など
お菓子を食べる時はあまり話さないようにと周知させた。しかし、話す子どもたちは一定数いるので、どうしても従ってくれない子どもには外に追いやって個別指導をやむを得なくすることがある。
ペーパークラフトの導入
公園で一輪車、紙飛行機、室内でコマ回し
ホワイトボードを使用し、一方向で座って遊べるビンゴ風なもの
公園へ行く子と学童に残る子を分散した
一日 3 回公園遊びに出掛けた。
室内と庭に遊びが少しは分散するよう、テラスにブランコ設置
外遊びでスペースを広く使う。
晴れの日は毎日公園でお弁当を食べた。
スライム作り、DVD 鑑賞会、プラ板などの室内でできることを増やした。
外遊びを勧めた
読書時間を増やした
外遊びを行った。おもちゃを増やした
隣と離れて質疑応答ゲームみたいなのが流行りました
外遊びを促し、中で密にならないようにした。
外遊びを多めに。

12.換気のルールはありましたか？

常時換気から半日程度、決めていないなど一定の間隔で換気をしていることが分かりました。



13.感染予防対策でとても大変だったことは何ですか？

マスク着用や密を避けることなど、対策に苦慮している様子が分かりました。

・複数回答があったものについて

おやつ中マスクを外している際に、おしゃべりをしないことや、どうしてもなかなかとマスクをしていられない子への促し。マスクをしていることで、熱中症に対する配慮も大変。
どうしても密が避けられない。
子供同士のじゃれあいの注意。

・それ以外の回答について

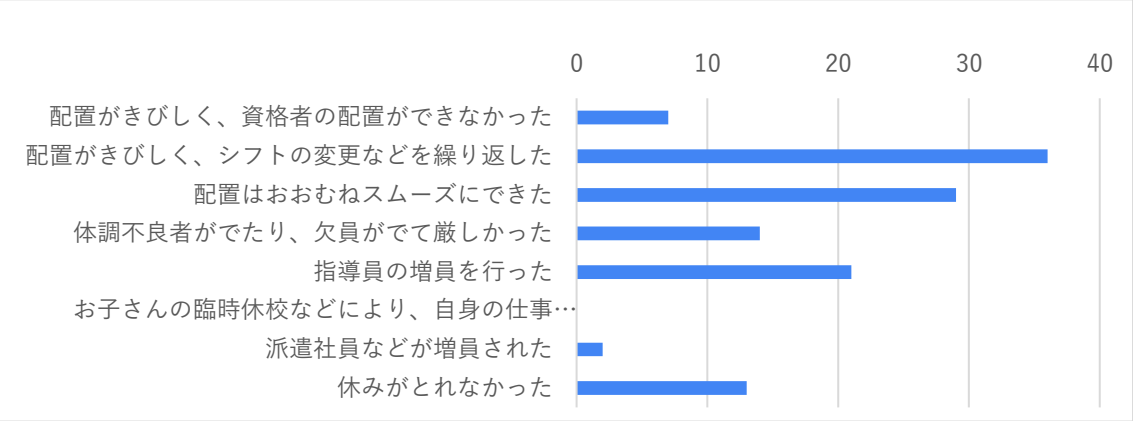
室内の消毒などをどこまでやらばいいのか判断に困った
暑い日はなかなかマスクをつけてくれない
子ども同士が絡み合う場面が多く、指示が入らない子どもが多い。
すぐにマスクを外す
密にならないように…手洗いうかいの声かけ。遊んでいるときはほとんどムリ。そんなことばっかりで嫌になった。
その時点ではまだ勤務していないのでわかりません
子どもたちにマスクをしてもらうこと
そもそも保育スペースが狭く 3 密が避けられない
室内の温度。
どうしてもすぐにマスクを外してしまう子への言葉がけが大変だった
人間の根源であり大切であった「密」ができない・させられないというジレンマ。子ども同士が離れて遊ぶだとか、食事中は無言だなんて・・・
おやつの時にマスクを外して友達と話してしまう事
蜜を避けることができません。子供同士や子供と指導員でも。
マスクが嫌いな子への配慮
子どもが引っ付いて遊ぶ
マスクをしてこない子がいたり、マスクをはずしてしまう子がいた 室内での遊びが蜜になることがあった
子どものマスク着用の徹底
マスクをしてもらうが、すぐに外してしまい子供達どうしで沢山話してしまう。
室内での、遊び。宿題や、おやつに座ったときの、会話状況。
マスクをしてもらえないこと、外出の際も周囲から変な目で見られることもあった
手洗い・うがい・消毒の声掛けをしていても段々と意識が薄くなっていったこと
マスクをとってしまう子が多い。
消毒についてどこまですればいいのか、どのようなやり方なら感染予防できるのか、確信なく行っていた。学校と異なり学童は共有物が多いので、やりだすとキリがなかった。 手指用アルコールが手に入らず、ストックが綱渡り状態だった。
マスクをなかなかしてもらえない
特にないです

マスクをなかなかしてもらえない、手洗い場が少ない、消毒等の備品がない
密を避ける事は無理！
マスクをなかなかして貰えなかった
遊び、宿題、おやつ、食事は密になること。
マスクをはずす子がいること
子どもがマスクをいやがる、消毒の無駄遣いをする
マスクを顎にかけてるだけの子が居る
子どもたちに、手洗い、うがい。手消毒・マスク着用までの完全定着に時間を要した
マスクを嫌がる子供が多い
子どもなので言ってもすぐひっついてしまう。マスクをずらしてしまう。
マスク着用を徹底させる事
子どもの手洗い
子ども同士の関わり、学童保育としての活動
アルコール消毒の徹底
子供同士や職員に対しての密接は何度注意しても子どもにはあまり理解してもらえなかった
雨が振り込んでくるので、やはり雨の日の換気は難しい。 布マスクはヨダレなどで濡れてしまうので、予備を持ってきてもらっていた。 おもちゃの消毒を定期的に行っているが、それだけで人手をとられてしまう
耳が生まれつき変形してゴムがからない子供が居て、改良したり、まめに結び直したりした。三密を避けさせるのに、人との距離感がわからない子供は何回教えても理解できなかった。
雨の日の換気、室内での過ごし方、マスクを嫌がる、等
室内でのこどものマスクの徹底。 すぐに外してしまう。
雨の日の換気。マスクが手に入らずしばらく着用できない子もいた。おもちゃの消毒。
室内はどうしても、集まって遊んでしまう。
雨の日の換気と外遊びができないため、室内が密になりやすいかった。
習慣付いていなかったマスクを全員徹底できるまでの声がけ。 マスク、消毒がなかなか手に入らなかった。
雨の日の室内での過ごし方
消毒
雨の日は換気をしづらい。
食事、おやつ中にしゃべることを控える事。(大人も子どもも、毎日は無理…)
雨天の換気
昼食時の配置。狭いため横がくっついてしまう。食べながら話をするのを注意しなければならなかった事が大変だった。 マスクをしながらの鬼ごっこなど、息苦しく大変だった。
外遊び時暑くてすぐマスクを外してしまう事
特になし
学童では密集、密接の回避が事実上できない。

密にならない為の机の配置や遊び方
学童において３密を避けること。密集、密接は避けられない。
蜜になり大声で遊んでしまう。
感染対策については、コロナ以前から指導員の認識に差がある事を常に感じていた。例えばタオルを共用していたり。使い古した雑巾での掃除…水回り掃除も家庭の掃除の延長レベル。 消毒についても、簡単な文章のみで具体的な手順のマニュアルや指導も無く実施。各学童の実情、事情の違いもあるだろう。これを機に、指導員の感染対策の意識改革と、研修の実施だけでなく、確実に実行していく体勢整えて欲しい。 コロナで人が集まれない事情はあるが、可能な限り改善は必要と思われる。
友達とくっついて遊ばない事は出来なかった
言っても子ども同士が近くなってしまうこと。全員の手洗い、うがいに時間がかかってしまうこと。
遊びの中で子ども同士の距離が近すぎること。
個人個人によっての意識の違い。どこまで対策をしたらいいのかがわからないこと。
最初はマスクを忘れる子やアゴまで下ろしてしまう子が多かった。

14.臨時休校中の指導員の配置について教えてください。あてはまるものを選んでください。

シフトの変更を繰り返したのが一番多く、配置が厳しかった結果となりました。一方で概ね配置出来たという回答も多く寄せられ、全体的に二分した結果となりました。



15.臨時休校中の開所に関して、働いている際に自身が感じた不安などはありましたか。

回答を列挙しますが、不安を感じていながらも仕事は続けざるを得ない葛藤があったことが浮き彫りになりました。

なし
万が一のことがないようにと、自身の家族にも会わずに過ごし、何が幸せなのか、仕事を優先し続け、自分は何をしているのか疑問に思った。最善は尽くしているが、もしもクラブで感染者がでたら…と、毎日神経が休まらない。
感染に対して敏感になっていた。
感染がでたらどうしよう
緊急なので仕方ないかもしれないが、

国県市からの通達がいつも急で 学校の対応も学校ごとに違うため 振り回されていた。 学校の対応も前日に変更があり、 細かいところまでは　こちらから確認しないと難しい状況で　子どもたちをゆったりした気持ちで保育することにとても神経を使った。
自身の感染リスクや保護者間の意思の疎通が出来にくい
職員の家族が病院や介護関係者の為、家族が感染して自分自身に感染していないか。子どもたちに感染させていないか。マスクが不足しているときは特に不安になることがあった。
自分が感染し病気になる不安よりも、そのことで広がる影響(世間から注がれるであろう目)の方が恐怖なのではないかと思う。
その時点ではまだ勤務していないのでわかりません
クラブで感染者が出ないから不安だった。
その日、その日が必死で正直あまり覚えていませんが、利用している子ども達、職員に体調不良者が出ない様にとそればかり思っていました。 その日一日が終わるとどっと疲れが出るのを感じていました。
自分が感染した場合閉所になる。その場合保護者の方に迷惑をかけてしまうだろうから感染するわけにいかないというプレッシャーを感じていた。
どちらから、感染しても、嫌な思いをする。　閉所が理想的ですが、どうしても、学童が必要な家庭に、確認することがストレス。 何が正解か分からないので、矛盾があったり、すれ違いであったり、とてもストレスがありました。 子どもたちに、マスクであったり、距離であったり、いつもより注意しなくてはならないことが多く、大変でした。
所で感染が起きてしまったらどうしよう。
・学童で働くにあたって、感染リスクが高くなるという不安もありますが、自分が感染源となり得るかもしれないという不安もありました。 ・学童に来ている子たちは笑顔で楽しそうにあそんでいるのですが、どうしても密は避けられず、世間のコロナに対する対策と、学童での環境に矛盾を抱えて不安のまま保育に当たっていました。
シフトの変更を急に何度もしなければいけなく大変だった。 消毒などの業務が増えた。
もともと苦手で始めましたが、一部の子に対しては今もまだ苦手です。むしろ始めの時よりも、嫌いになってしまった子もいました。しかし、僕のことを受け入れてくれる人が
支援員が高齢なので誰かが感染した場合の、健康の不安、責任の追及し合わないか雰囲気が嫌でした。念のため私は２週間お休みしました。高齢の方こそ休んで欲しかったけど、高齢の方ばかりで不可能。
一番は、三密を避けさせる方法が見つからない。自粛出来なかった家庭が多かったので、保育室も狭くて避けさせる事が難しかった。
自分がもし感染してしまってみんなにうつしたらどうしよう
家族が熱を出し、大事をとって２週間休んだ。

自分が感染してしまったらどうなるのか、感染が出たらどうなるのか不安だった
学校開始してからの子どもの心のケアができるか不安だった。
自分自身が知らないうちに感染していたらどうしようという不安がありました。
学童クラブ内で感染が出れば児童、保護者、指導員の生活を脅かすことになる。 それだけに日々、戦々恐々であった。 例年、子どもたちと様々な活動を企画、準備していくのだがすべてが白紙になってしまい、子どもたちのモチベーションを維持できなかった。
上記内容以上にはありません。
学童でも勉強を教えていたが指導員の人数に限界があり遅れをとるのでは？と不安でした。
人数が少なすぎてなにしていいかわからなかった時期があった。
学童で感染拡大した場合の対応。及び閉所となった場合の子どもたちの居場所をどうするのか。
普段より来所人数がかなり少なくて過ごしやすかったです
学童の買い物でスーパーへ出かけて自分が感染して子供たちにうつしてしまったら…と不安でした
指導員のマスクよりも子どものマスクが手に入りづらかった
学童内で感染者がでるかもという不安、ここで自分が感染してしまったらという不安、子供との蜜がさけられない状況である不安がとてもありました。
自身が感染してしまったらどうしよう？自分の家族に感染者が出てしまったらどうしよう。
学童保育はどうしても三密が避けられない。感染が身近に迫った時、どうしたら感染を防ぐことができるのか、子供達を守れるのか、確信なく対策を行わざるを得なかった。 体力的にというよりは、その精神的な負担で疲れてしまった。 主任指導員の精神的疲れが明らかで、倒れてしまうのではないかと心配だった。 子供達が毎日元気だったのが救いだった。
自分がコロナを持ち込んでしまったらどうしよう。体調が悪くならない様気を使った
・自分、もしくはこの学童の指導員が感染してしまったらどうしよう ・指導員体制が十分でないため自分の休暇が取れない ・この学童の子ども、もしくは父母で感染者がでたらどうしよう ・長時間開所で仕事がハードすぎる ・感染防止対策の備品がなさすぎる ・子どもたちが不安定で保育が大変 ・先行きの不透明感
自分が感染したらどうしよう。
感染がでたらどうなるのか不安でした。
自分が感染していないか心配。体調不良の時に休みづらい（言いにくい状況）
感染して閉所になったら責任重大とのプレッシャーは強くあった。
自分が感染して子供に感染させ閉所になる事ご心配だった
・自分たちのやり方で感染防止対策がちゃんとできているのか。 ・感染予防を叱りつけてまで徹底すべきなのか。

・少人数の活動に慣れてしまって、通常の人数に増えた時戸惑うのではないだろうか。
自分が感染又は施設内での感染が起こってしまったらと考えると怖い。
感染者が出た場合の対応、子どもが発熱した場合の対応とその後の対応
出勤日数、出勤時間が増えるので体力が心配だった。
感染者が出ないかということももちろん心配であったが、子どもたちにどこまでのことを感染予防対策として強いて良いのかが明確にできない。
上記「子ども達が不安定」を除き、すべて当てはまります。
感染対策に対する指導員の意識の差。 備品を揃えても生かしきれていない。
職員が感染したら閉所になってしまうので、他職員含め行動の自粛や感染予防の徹底をお願いしなければいけなかった。先が見えない状況でいつまで午前中開所が続くのか不安だった。行政のいきなりの通達によって、職員の働き方が振り回された。
正規１人の現場の為、自分が倒れたら閉所、休みも取れない、丸一日通し勤務が１ヶ月以上続く、不安しかなかった。
食事作りの要求が強過ぎる 指導員の打ち合わせが出来ず連携不足となる
誰かが感染したらという不安がずっと続いていること。
人数が多く、密になりやすい。
特になし
年度末、年度始めに被ったことが何より大変だった。
当初、ウィルス自体の情報が少なく、感染してしまった場合のリスク等計り知れない中、自身が感染することにより与える影響・迷惑、自学童で感染者(利用児童)が出てしまわないかという見えない不安
緊急事態宣言や休校要請が急だったため、指導員の確保にかなり苦戦した。指導員の体制が取れず１週間は閉所対応となった。 学校再開後は、休校期間中に学童に来ていた子と来ていなかった子で子どもの様子は大きく変わり指導が大変だった
日々、学童から感染を出さないよう手洗い消毒マスク換気、外遊びだけを考えていました。
近隣の目が気になってのびのび保育が出来なかった。
必要最低限の外出でも、スーパーやコンビニで感染してしまったらどうしようか、もし感染した場合、自分の勤めている施設、市、県の全ての保育所が閉所になってしまうのではないか、保護者が預ける場所がなくて働けなくなってしまい、家庭が成り立たなくなるのではないか、自分 1 人の感染でどれだけの人が困り、迷惑をかけてしまうのだろうかという不安と緊張と常に隣り合わせだった。毎日毎日朝から夕方までずっと子どもが居て、事務仕事が全く出来ず、基本持ち帰り。当日の保育日誌などは残業して書いていた。シフトも休憩時間を組むのに苦労したり、変更をしたりして大変だった。いつまで続くか分からない休校期間で、終わりのない長期休みを過ごしているようだった。見通しがたてられず、常にニュースを気にしていた。
高リスクな環境。感染したところでどうしようもないが、家族理解は難しい
毎日朝からの開所で、プレッシャーが半端なかった。 その上、年度末・始め、さらにコロナ関係の事務作業が多く、保育にならなかった

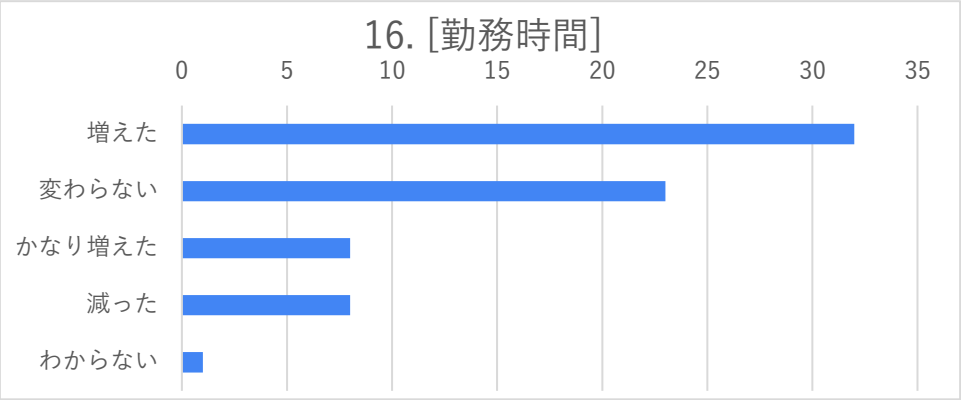
子どもたちから感染者がでたらどうしたらいいのか不安
自分の身内に介護者・基礎疾患者がいる。正直、この仕事の感染リスクは高く、不安がいつも付き纏う。感染リスクへの意識の低い関係者の言動に腹の立つことが多い。政府をはじめ行政のコロナ対応には辟易している。
子供たちとの距離が近く、子供たちはマスクをしていない子が多かったので少し怖かった。

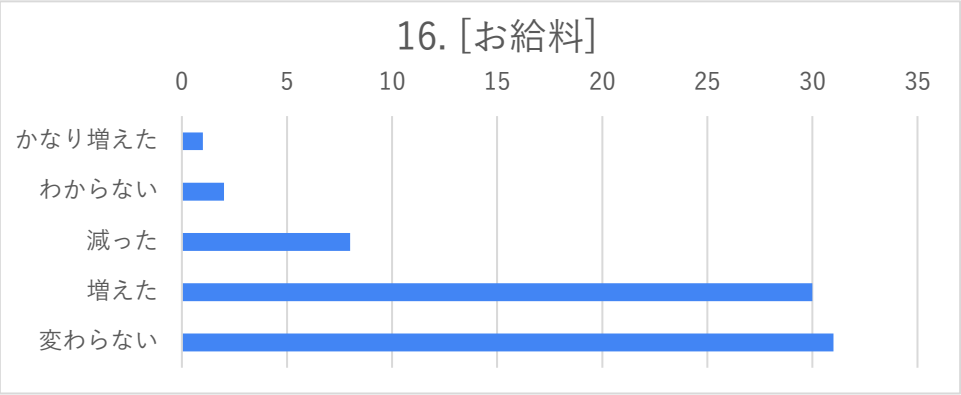
16.臨時休校・利用自粛にともない、勤務時間・お給料の変化はありましたか？

[勤務時間]

[お給料]

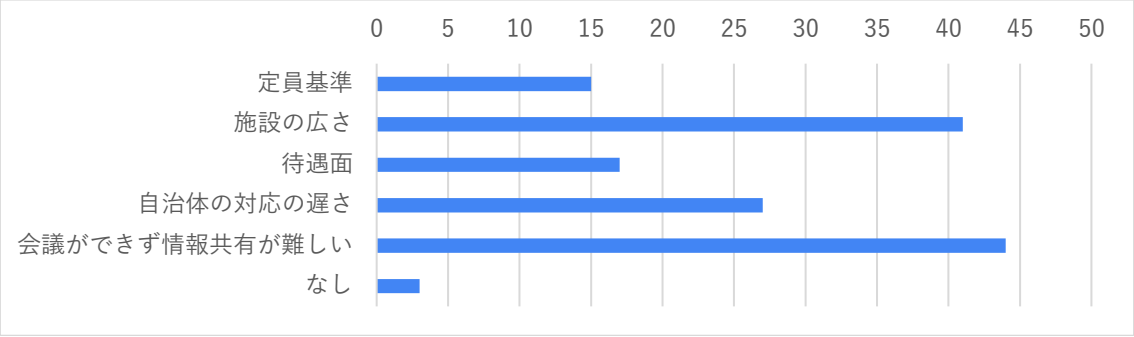
変わらないという回答も多く、意外な結果となりました。





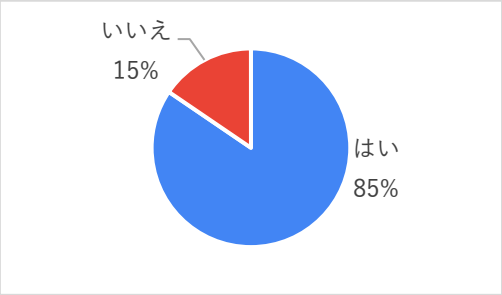
17.今回の臨時休校や、利用自粛などにより、学童保育として、とても困ったことは何でしたか？

会議ができず情報共有が難しい、施設の広さが半数以上を占めた結果となりました。



18. 学童保育所内で新型コロナウイルス感染症を発症した子ども・指導員・保護者がいた場合の開所などに関わる自治体からの取り決めはありましたか？

いいえの回答が 15%もありました。



19. 指導員が発症した場合、もしくは濃厚接触者となった場合の対応について、わかる範囲で教えてください。

対応がバラバラで、詳細な情報が行き渡っていない、共有できていないことが分かりました。

すぐに接触を避け、医療機関にかかって 相談する。
少しでも、体調がおかしければ、とにかく欠勤すること。
閉所する
発症の場合、2 週間閉所になり、除染作業が行われる。濃厚接触者の場合出勤停止となり経過観察となる。
指導員が発症した場合、最後に利用した日の翌日から 14 日間休所となります。 濃厚接触者となった場合の対応については明確な記載なし。
区に報告する
クラブで発症者が出た場合は閉所をする
申し訳ありません。わたしは未熟なもので存じておりません。
クラブの閉所。市、及び保健所への連絡と、その指示にしたがって行動。
利用自粛の協力依頼期間、利用負担金の変更。クラブ休所などの実施。
２週間以上の自宅待機
仕事を休む、上司への連絡
ただちに学童、保健所に連絡。学童は一定期間閉所。
自宅待機、学童閉所
どちらになっても学童は直ちに閉所
発症した場合は一時閉所、濃厚接触の場合は自宅待機
なし
病院の指示に従う。基本出勤停止。
なったら閉所。濃厚接触は 2 週間の自宅待機
１４日間の自宅療養。学童保育は２週間の閉所。
一定期間の閉所後、保健所指導により開所
区役所からの規定に従う
学童の閉所

子供、職員の家族全員が濃厚接触者となり閉所となる
学童は２週間の閉所
指導員が発症した場合は２週間閉所 濃厚接触者となったら２週間出勤停止
学童は２週間閉所
2 週間閉所
学童は 2 週間閉所、濃厚接触者となった場合は検査結果が出てから決まる。
早速、保健所等へ問い合わせて指示に従う。 検査で陽性者が出た場合は 2 週間閉所。
学童休所
発症した場合は閉所
学童休所。感染した日から 14 日間。
発症者が従事した翌日から 14 日間の休所
閉所
２週間閉所
名古屋市の方針に沿って対応。２週間の閉所。
学童保育所の閉鎖。
役員への報告→保健所など行政機関への連絡。14 日間の出勤停止。 学童の閉所。
学童保育所自体当面、３日～２週間の範囲で閉所の可能性大。
臨時休所
感染の場合は、2 週間閉所。濃厚接触者の場合は、決まっていない。
休所

20．学童保育に通っている子どもが発症、もしくは濃厚接触者となった場合の対応について、わかる範囲で教えてください。

設問 19 と同様の対応との回答が多い結果となりました。

保育所の利用を停止し、すぐに医療機関にかかってもらい、保育所の消毒の徹底・指導員の検査・保育所の閉所等。
上記に同じ
閉所する
自主隔離
発症の場合、2 週間閉所になり、除染作業が行われる。濃厚接触者の場合登所を控えて頂く。
19 と同様。
2 週間閉所
１４日間の自宅療養。学童保育は２週間の閉所。
２週間閉所
上記と同じ
クラブの閉所。市、保健所への連絡と、その指示にしたがって行動。
発症した場合は学童自体も一時閉所、濃厚接触の場合はご家族で自宅で過ごしていただく。
発症者が利用した翌日から 14 日間の休所
19 に同じ
19 と同じ。
わかりません
利用自粛の協力依頼期間、利用負担金の変更。クラブ休所などの実施。
一定期間の閉所後、保健所指導により開所
指導員と同じ対応
一定期間学童閉所
自宅待機、学童閉所
学童の閉所
上記と同様。
学童は２週間閉所
登所しない。
学童は 2 週間閉所、濃厚接触者となった場合は検査結果が出てから決まる。
発症した場合は閉所
学童休所
発症の場合は２週間閉所
学童休所。感染した日から 14 日間。
閉所
学童保育に通っている子どもが発症した場合、治癒するまでの間利用停止。 最後に利用した日の翌日から 14 日間休所となります。 濃厚接触者となった場合の対応については明確な記載なし。

閉所となる
学童保育所の閉鎖。
名古屋市の方針に沿って対応。２週間の閉所。
休所
区に報告
区役所からの規定に従う

21．学童保育に通っている子どもの保護者が発症、もしくは濃厚接触者となった場合の対応について、わかる範囲で教えてください。

設問 20 と同様や分かりませんとの回答が複数、他はバラバラの結果となりました。

わかりません
問 20 と同様
２週間閉所
分からない
発症した場合は閉所
その家庭の児童は登所できなくなる
閉所となる
その保護者が普段送迎などに来ていたら、閉所、来ていない場合子どもの自宅待機。感染の有無を確認後それぞれ市、保健所への連絡と、指示にしたがって行動。
とくになし
発症の場合は学童自体も一時閉所、濃厚接触の場合は子どもも自宅で過ごしていただく
閉所
学童の閉所
保護者が発症した場合、その子どもは登所できない(期間はわかりません) 保護者が濃厚接触者となった場合は、検査結果を待って判断。
学童は２週間閉所
19、20 と同じ。
区に報告
当該児童の利用の自粛のみ
区役所からの規定
発症の場合は２週間閉所
子どもの登所は控えてもらう。
発症または濃厚接触者の子どもの登所は控えて頂き、経過観察となる。
子どもは自宅待機❓
分かりません。
子どもも同じく自宅待機
閉所する
自己管理
保健所の指導のもとに学童一定期間閉所
自宅待機、学童閉所
明確な記載なし。

利用自粛の協力依頼期間、利用負担金の変更。クラブ休所などの実施。
取り決めなし

22. 利用自粛期間中に学童保育所内で新型コロナウイルスに感染していると診断された児童・指導員・保護者はいましたか？

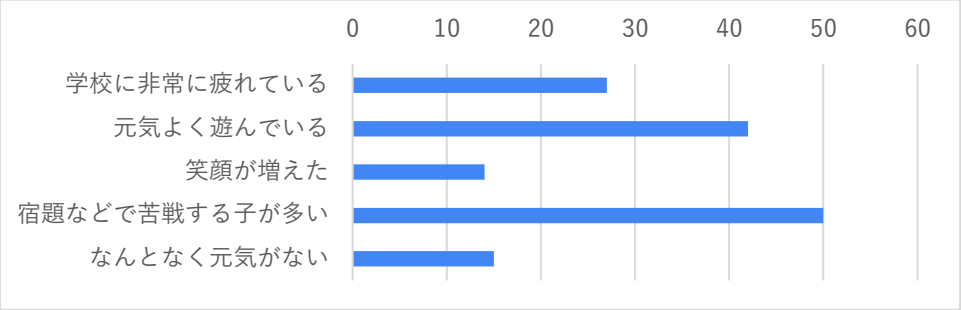
診断された方はいなかったようです。

注）設問 23～29 は下記の通りですが、感染者がいなかったため省略します。

23. 感染と診断・濃厚接触者となった方はどちらに該当しますか？
24. その時期はいつ頃ですか？
25. 関係者・関係部署に周知はされましたか？
26. 感染者・濃厚接触者が発生した場合の閉所の期間は何日でしたか？
27. 閉所に対する自治体からの補償はありましたか？
28. 発症者以外の関係者が希望すれば、PCR 検査を受けることはできましたか？
29. 閉所期間中に児童、保護者、指導員がどのように過ごしていましたか？わかる範囲で記載をお願いします。

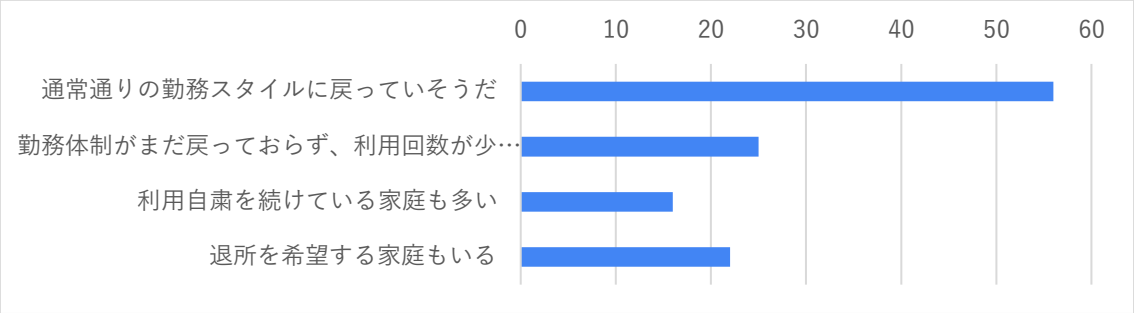
30.学校が再開されました。子どもたちの様子はいかがですか？

宿題で苦戦していたようですが、元気に遊んでいる子どもたち、逆に疲れている子どもたちもいるようで、様子はまちまちでした。



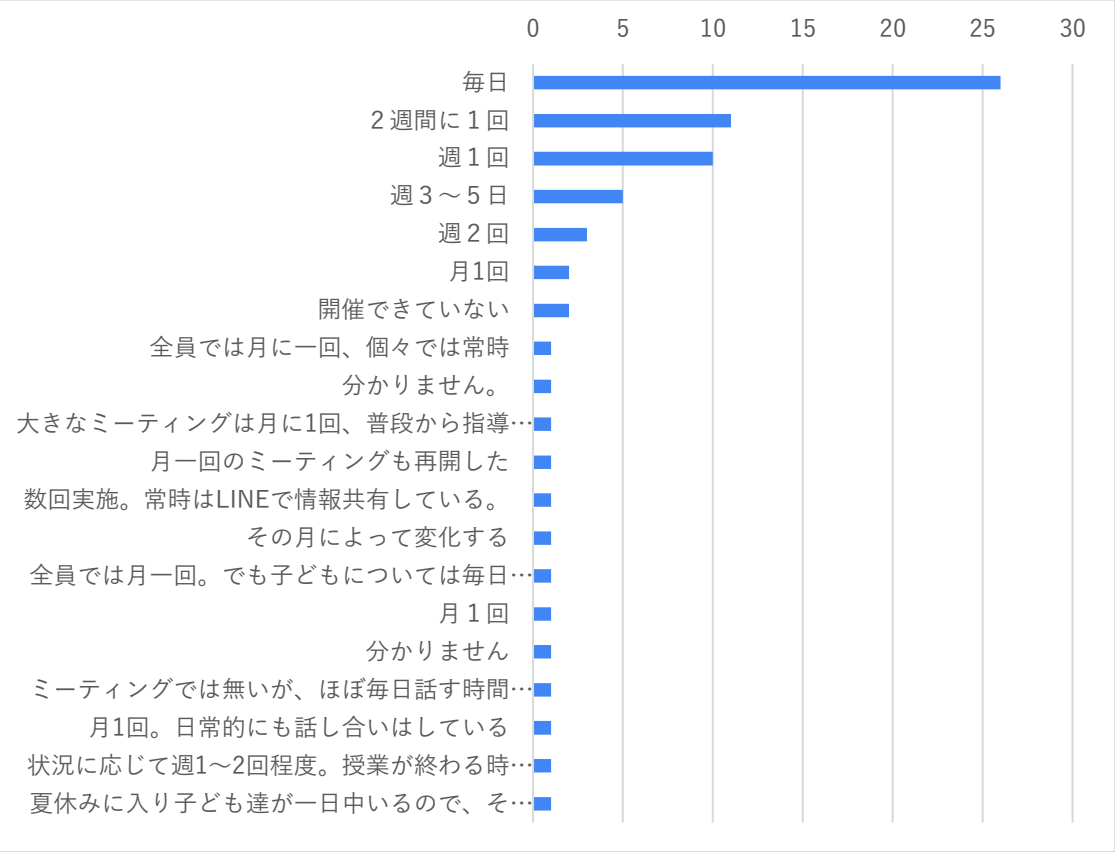
31.学校が再開されました。保護者の様子はいかがですか？

通常通りの勤務スタイルに戻っていそうだ、の回答が多くなりました。



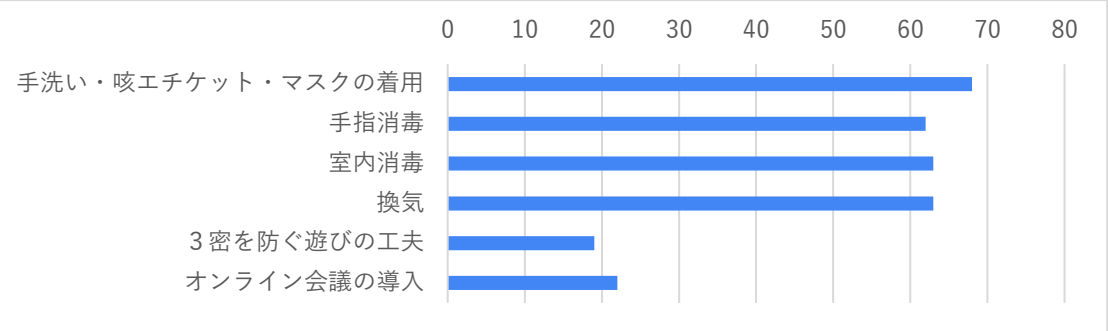
32.学校が再開されました、指導員間のミーティング回数は増えましたか？

毎日との回答が一番多くなり、ミーティングをこまめに行っていた様子が分かりました。



33. 今後の第２波に向けて、何か対策をしていますか？

手洗いや咳エチケット、マスクの着用、消毒、換気などの対策をしてもらっているようです。



34. 今後の第２波を想定し、国や県、市町村に対して、金銭面での補償やPCR・抗原・抗体検査の充実など要望はありますか？

ある場合は、その他に記載もお願いします。

ある 50%、なし 50%となりました。ある場合の回答を下記に列挙します。

全ご家庭が生活の出来る金銭面での補償。
指導員の給与保証及び税金の減額
希望者に速やかに。
分からない
スペースの確保が何より
抗体検査

どこで発生したか速やかに伝えて欲しい。
自粛要請に関する保証の早期対応策の提案、消毒液等の定期的な配布
PCR 検査の価格をもう少し安く
PCR
マスク等備品の確保、休業時の給与保障
金銭的な補償も当然だが、備品等の整備
まずは素早い情報提供。(数日で対応は困難)次に申請しやすく使いやすい助成金(書類は書きやすく、データでも可に。事後申請も可に。)
子どもが、通所してこなくでも、今まで通りの補助金を、継続して欲しい。収束するまで、感染予防の補助金を取れるようにしてほしい。アルバイトの、給料保証をしてほしい。
引き続いての補助金等の補償。
指導員への、危険業務補償をして頂きたい。学校休業や変更による負担増や、2 波での負担やリスクの補償。
正しい対応、効果的な対応がまだ不安定なので、確かな情報が欲しい
PCR 検査が受けやすくなって欲しい
扶養範囲を超える勤務に、柔軟に対応出来るよう特別期間などを検討してほしい。
何事もすぐに対応してくれるくらい充実させてくれればそれでいい。
負担が大きいので補償はお願いしたい
学校や幼稚園を休校なら学童、保育園も休園要請をするべき。指導員も安心して働けない
豊川市内で陽者が出た場合は検査を徹底して欲しい
学童保育の基準(施設の広さや設備)が十分ではないので改善して欲しい
危険手当が欲しいです。医療従事者のお子さんを預かる重要な役割りですが、パートで様々な保証がない。公務員の教員は自宅待機。納得できませんでした。

35. 今後、第２波に備え、衛生用品など感染予防や拡大防止に関するもの（マスクや消毒液など）は足りていますか？

はい 56%、いいえ 33%、その他の意見を下記に列挙します。半数以上は足りているようです。

スペースの確保、それに伴う人員の確保のための人件費保証
紙マスク、消毒液、ペーパータオルなどのストックは無いので、寄付して貰えるなら欲しい。
現状足りているが、またいつ不足するかわからないので、備えが必要
わかりません
小口でしか手に入らないので苦労している
足りている物もあれば不足しそうな物もある。
現在補充中
確実に購入できるルートの確保が必要。

36. 第２波となった場合に、考えられる学童保育所での懸念事項をあげてください。

各指導員が何かしらの懸念があるようです。

感染者の発生、閉所の恐れ
子供のストレスが溜まること。
子どもたちの心のケア。
密状態
人員確保。感染リスク。児童、児童のメンタル面。
指導員体制、開所するべきか、密にならないための対応策など
3 密回避ができない。
批判 差別
３密回避ができない。 発生時の責任所在。 指導員の配置。
指導員の疲労がピークに達してしまう。
3 蜜を守る事は出来ない
自粛要請等で欠席世帯が多くなり、退所につながりやすい。 様々な取り組みを再開していたがまた白紙に戻ってしまうこと 父母会が出来ずに保護者間の交流ができなくなること。
おやつや外遊びなどに制限を設けるかどうか
長時間開所を求められると、人員・金銭面等成り立ってゆかない学童も出てきそう。 また、長期の休校となると勉強面での補助も必要とされそうであり、そちらに人員を割く必要も出てくるのかと考えている。
クラスター
閉所になる事
これまで以上の対応策の検討
子どもの症状が、風邪なのか、感染なのかわかりずらいことから、心配になる。単身の家庭、医療従事者の家庭など、前回同様、感染していないことを祈るしか無いのかもしれないと思うと辛い。 PCR、抗体検査など、簡単に受けられると安心できると思う。
ペーパータオルや紙コップなどの消耗が激しいので、また売り切れが出ると心配。
指導員の負担増による疲労。
マスク着用と換気と暑さ対策を同時に行えるか
児童、または指導員が感染した場合、学童でクラスターが発生してしまわないか、不安です。
また突然の休校要請になった際の対応ができない早めに言って欲しい。学童は 3 密でも仕方ない。保育の場で 3 密を防ぐことは無理だと思います。
常に三密状態なのが不安
また利用自粛をしてもらえるのか
人件費が増加するが財源がない。助成金がない場合は最悪閉所するしかない。
もう無理です

特になし
もし感染者が出た場合の対応。
扶養内で働いている人が、また休校になったら出勤出来なくなり指導員が足りなくなる
わかりません
保育料の返金 指導員不足
疫病に慣れてしまい危険だという意識の薄れ
利用人数が減らない場合の人員体制。感染が身近に迫った時、学童保育内の感染を防げるか。
開所時間、指導員の疲労、子供たち保護者の疲労
3 月から 5 月まで、もう保護者もたくさん休んでいるので、第二波が来ても休めず、利用自粛できる家庭は少ないのではないかと思う。すると定員いっぱいで密はどうしても避けられない。
学校の休校になった際のシフト変更
指導員の負担がある
学童保育所の閉鎖
指導員体制
楽しいから来るという事情があまり分からない家庭
指導員体制問題
感染
自粛要請を出した方がいい
感染者が出た場合の対応
自分が感染すること
感染者が発生しないか。
職員体制の確保と学童から感染者が出ないか不安に感じる。
・そもそも開所するかどうか、子どもの受け入れをしても良いのか ・何に備えて、どう対策をとればよいのか ・指導員体制の維持、確保 ・3 密をどう回避するか
人員不足。
感染対策の徹底強化ができるか。
前回の緊急事態宣言時より、感染に対する警戒意識が子どもも保護者も下がっているように思える。自分たちの余暇・経済も大切であるが、先ずは命ではないかと思う。
検討中。新たにどういう事態が起きて来るのか把握できていない。
同じ
現在マスクをしていない子が多いため急速に広がりそう。指導員の不足。
入所児童が増えたため、密になる
合同で行っている場合シフトの常に二人体制が本当に必要ない。子ども２人で最悪指導員４人とかになる上にシフト作りも困難になる
病気になることです

再び休校となった場合の子供たちの精神的ストレスがたまるのではないか不安
分からない
三密
保育を変更しなければいけないこと
三密を防ぐ事が一番困難。
密は避けられないのでひとり感染したら多数は妨げられない。
子どもたちの活動にさらに制限がかかること
利用自粛や利用制限をもうける。
どうしても働く必要があら家庭のために、開所していきたいが、感染予防は、大丈夫か？
３密は避けられないのは変わらず。父母の仕事がどうなるか次第で、前回より利用児童は増えるのでは？
子どものストレス爆発、自傷行為など

37．第２波にそなえ、指導員の人員配置はたりていますか？

はい 43%、いいえ 39%、その他の意見は下記に列挙します。各クラブで事情が違うようです。

現状、学生を含め人員配置を行っているが、学生の動向により人員不足状態に陥る可能性がある
第２波に備えてという人員を確保できる余裕はない。現状、シフトがまわる人員配置。
分からない
バイトさんの状況次第
求人をかけているが不発続き。
わかりません
人員配置はできそうだが、特定の指導員に負担がかかりそう
わかりません。
知りません
何とかギリギリという所です。
利用自粛があれば足りてると思われる。
何とも言えない（自粛する指導員もいるため）
夏休みに父母保育をお願いしてなんとかなっているので、夏休みが終わってからが心配

38．最後の質問です。新型コロナウイルスの影響による企業からの何らかの支援をうけましたか？助成金や物品、食べ物など支援を受けたものを記載してください。

マスクやお菓子など支援物資は様々だったことが分かりました。

マスク
お菓子、手作りマスク
お菓子

企業からはありません。 近所の高齢者のボランティアの方々から手作りマスクや、親御さんから消毒液の寄付をありがたく受けました。
えびせんべい、レゴランドのお菓子、動物園クッキー、めぐリズム温熱シート、
消毒エタノール
ローソンからおにぎり
おにぎり じゃがりこ.堅あげポテト カップラーメン
おにぎり、おやつ
マスク、菓子など
おにぎり、スポーツドリンク、Calbee お菓子、ラーメン、チョコレート、マスク、消毒
自分自身にはないです 保育所には、おにぎり、お菓子、マスク、消毒液など
おにぎり、給食の乳製品の在庫、カップラーメン、花、お菓子
食料品
おにぎり、消毒液
・お菓子 ・マスク ・食事 ・アルコール消毒液 ・トイレットペーパー　など
おもちゃ（イロトカタチ） セーブザチルドレンからの助成金 マスク カップラーメン
マスク、アルコール、トイレットペーパー、おにぎり、お菓子、カップラーメン、助成金
おやつ、カップラーメン、非常食
レゴランドからクッキー、他の場所からもじゃがりこなどをもらった
おやつです
おにぎり　カップラーメン　　トイレットペーパー　指導員へのオヤツ
おやつの寄付
助成金・食品・マスクなど
おやつの寄付はたくさん頂いた。子どもたちへのおやつも、ローソンさんのおにぎりなども頂きとても助かった。また、指導員へお疲れ様ですと森永さんから指導員向けのお菓子も頂いた。ありがとうございました。
消毒液・マスク・お菓子・飲料水
おやつやマスクの支援
特にありません。様々な情報をいただきましたが、申請に時間を割くことが出来ませんでした。
おやつ類、マスク

名古屋市からお菓子、マスク、消毒液頂きました
お菓子、お弁当、ペーパークラフト
マスク,お菓子等、行政を通じていただきました
お菓子、カップ麺、おにぎり
マスク、おにぎり、おかし、即席めん。
お菓子、マスク、消毒液
マスク、消毒液、お菓子、ラーメン
レゴランドからのお菓子。企業・行政からのマスク等・・
感染予防物品、お菓子、おにぎり、助成金（セーブザチルドレン）
近くのレストランが昼食をつくってくださいました。
市内の会社から、お弁当をいただきました。 ローソンさんから、おにぎりをいただきました。 ありがたかったです。
お菓子、消毒液
近くのレストランが昼食を作ってくれました。
お菓子、昼食、マスクなど
指導員向けのお菓子や子供へのお菓子、おにぎりやスポーツドリンクなど沢山の支援をいただきました。
お菓子のご提供
助成金、お弁当、お菓子、教材、消毒薬、マスク
お菓子類、マスク、赤い羽根募金より助成金
助成金で机、椅子、一輪車、粘土、コピー用紙など購入しました。
お弁当給付
消毒液
カップラーメン
食べ物、マスク
カップラーメン 菓子 消毒液 マスク
駄菓子、マスク、消毒液
カップラーメン、スナック菓子、マスク、食毒液
カップ麺、お菓子
スナック菓子、カップラーメン、マスク、おにぎりです。
連絡協議会を通じてお菓子の寄付を数回受けた。
セーブ・ザ・チルドレンの助成金を活用して玩具等購入、雇用調整助成金の申請、布マスクの寄付、市連協からのお菓子寄付
たくさん受けました。 おにぎり、お菓子、カップ麺、トイレットペーパー

以上